

3人の子を持つママさん議員

# 富士子ちゃん通信

群馬県議会議員 かがや富士子

第6号



お世話になっております。県議会議員のかがや富士子です。

大胆な色使いと斬新なデザインで再び注目を集め始めた、いせさき銘仙。この伝統を絶やさないために、現在、官民一体となって様々な取り組みや工夫がなされております。

その象徴的な場所が伊勢崎市曲輪町にある、いせさき明治館。先日、明治館を訪問し、展示を見せて頂きました。知れば知るほど、見れば見るほど、いせさき銘仙の素晴らしさを知ることが出来ます。みなさんも、一度、いせさき明治館に訪れてみませんか？実際に銘仙を試着することも出来ますよ。

VOL.  
**06**  
2017  
2018



榊祭あかぼり  
地元市議員のみなさんと  
須永市議と鈴木市議と加賀谷（左から）



前橋刑務所視察



小菊の里にて

## いせさき明治館



いせさき明治館（黒羽根内科医院旧館）は、明治45年に建造され、県内最古の2階建て洋風医院建築物です。伊勢崎市の重要文化財に指定されており、いせさき銘仙が常時展示されています。

【開館時間】 午前10時～午後5時

【休館日】 祝日を除く月曜日・火曜日  
(年末年始は休館となる場合があります。)

【交通案内】 いせさきコミュニティバス  
あおぞらバス停「本町西」で下車 徒歩3分

【問い合わせ】 いせさき明治館  
伊勢崎市曲輪町31-4 TEL: 0270-40-6885

## 「無料法律相談・困りごと相談」

弁護士が  
参ります。

毎月第3土曜日 13時～15時受付

開催場所：中央労働金庫伊勢崎支店2階（伊勢崎市今泉町1-22-11）

離婚、相続、交通事故、後見人などの法律に関するお困りごと、県行政、市行政に対する相談事がありましたら、お気軽にご相談ください。相談は無料です。相談内容の秘密は厳守いたします。



矢島市議、加賀谷、山田弁護士、塚越前県議

### 富士子ちゃんの ひとことコラム

7月の末に、尾瀬ハイキングに行ってきました。ニッコウキスゲの時期に合わせて出掛けましたが、鹿による食害の為、ニッコウキスゲは数える程しか見られず…。尾瀬では雪が減ったことにより、以前は見掛けなかった鹿が生息できるようになり、食害が発生したのではないかと考えられています。群馬県でも様々な対策事業を行っているようですが、ニッコウキスゲを復活させるには、まだまだ時間が掛かりそうです。



ぜひ皆様の声を  
かがや富士子に  
聞かせてください。

### かがや富士子事務所

☎ 0270-22-2451

✉ fujiko\_kgy@ybb.ne.jp

📍 〒372-0006  
群馬県伊勢崎市太田町564-1-2-2  
TEL: 0270-22-2451  
FAX: 0270-22-2455



ブログ・FACEBOOK 更新中

かがや富士子 検索

www.kagayafujiko.com

群馬県議会議員かがや富士子の県議会報告書・活動報告  
富士子ちゃん通信 第6号 2017年12月  
リベラル群馬 発行人 加賀谷富士子  
〒372-0006 群馬県伊勢崎市太田町564-1-2-2  
TEL: 0270-22-2451 FAX: 0270-22-2455

## 12月5日に一般質問に登壇しました。 子育て、教育、貧困問題などを取り上げましたので、 その一部をご紹介します。



平成 29 年第 3 回後期定例会が 11 月 27 日から開かれ、今回は議員になって 3 回目となる一般質問に登壇いたしました。一般質問は年に 1 回しか順番が回ってこないため、なかなか登壇する機会はありません。一人の議員に与えられる時間は 65 分間。この 65 分間に議員の質問と執行部の答弁のやり取りがなされます。今回も、子育て、教育、貧困問題などを取り上げましたので、その一部をご紹介します。

### 学童の待機児童について

**Q** 2017年9月1日の新聞報道によりますと、全国の学童の待機児童数が過去最高になったとありました。群馬県の現在の学童保育の待機児童の現状と、待機児童解消に向けて、どのような対応がされているのか？

**A** 県内の市町村が運営する放課後児童クラブ（学童保育）は 5月1日時点で、前年より23人少ない59人で、前橋市に53人、玉村町に6人。県としては事業主体である市町村の計画に基づく事業に必要な運営費用、施設整備の補助、放課後児童支援員の資格研修などを実施し、質と量の確保に努めている。見えてこないニーズもあるかと思うが市町村と連携をして、待機児童の解消に向けて取り組んでいきたい。



待機児童数は減少していると言っていますが、伊勢崎市内の学童保育のスタッフの方に聞いてみると、通っている学区の学童保育を申し込んでも入れなかったために、学区を越境して学童に通っている子や、空いている学童に入るために小学校を転校している子もいると聞きます。これでは無理やり待機児童を解消しているのだと感じます。学童保育の現状を正確に把握し、待機児童解消に向けた取組みを要望いたしました。

また夏休み等の長期休暇中、学童保育所では昼食が出ないため保護者が毎日お弁当を持たせているところが多いと思います。他県の自治体では長期休暇中、稼動していない給食センターを稼働させ学童保育所に給食の配食をしているところもあると思うので、そんな提案もさせて頂きました。作りたての美味しい給食が食べられれば、保護者にとっても子どもにとっても、大変有難いことだと思います。

### 就学援助について

**Q** 生活保護を受けている家庭や経済的に苦しい状況にある家庭の子どもたちが、安心して教育を受けられるための支援策として「就学援助制度」があり、

学用品費や通学費、修学旅行費、給食費等に対する経済的支援が行われています。この支援の対象となる小・中学生の割合である「就学援助率」は全国平均15.39%に対して、群馬県は6.78%となっていて、全国の中で下から3番目の割合となっています。また、必要な支援を受けられないでいる子どもたちがいるのではないかと考えられるが、県としてはどう考えるか。また、就学援助制度をさらに積極的に知らせていく必要があると考えますが、県としてどのように取り組んでいくのか。

**A** 就学援助率は生活保護受給率と似た傾向にあり、実態に即した結果になっていると考えている。

就学援助率の数字に表れていない、必要な支援が届いていない子ども達はまだいる可能性もある。また家庭環境の変化により新たに支援が必要になることも多いため意識をして、就学援助について取り組む必要があると考えている。県内全ての市町村において、学校を通じて保護者への資料配付を行ったリ、ホームページや市の広報でお知らせをしている。県教委としては市町村に対して、就学援助の周知徹底をして頂くと共に、対象とする世帯の拡大、費用の充実に取り組むよう市町村に働きかけを行っていく。

県としては就学援助率については実状にあっている数字と認識をしているようですが、私は学習支援が必要でも、制度が行き届かない家庭があるのではないかと考えます。福祉の現場で働く人に聞いてみると、そういった援助が必要でも、制度を知らなかったり、申請書類の記入が出来なかったりする人が見受けられるとのこと。子どもの貧困を放置すると、将来的な社会的損失は40兆円超に達するとも言われています。スクールソーシャルワーカーなど福祉の専門家を学校に配置し、そういった家庭を見つけ、早い段階で支援に結びつけていく必要があると考えます。



### 今回の一般質問の内容

- 1 在留資格のない外国人に対する医療体制について
- 2 性的少数者の支援について
- 3 放課後の子ども過ごし方について
- 4 学童保育の待機児童解消に向けた県の取組みについて
- 5 放課後子ども教室の現状と取組みについて
- 6 教員の多忙化解消について
- 7 就学援助の現状と認識について
- 8 支援の届かない子どもに対する取組みについて
- 9 スクールソーシャルワーカーの配置状況と今後の取組みについて
- 10 生活困窮者の自立支援について
- 11 生活困窮者自立支援事業（任意事業）の実施状況について
- 12 子どもへの学習支援事業の実施状況について
- 13 子どもの心の教育について
- 14 特殊詐欺について
- 15 特殊詐欺の現状について
- 16 特殊詐欺の被害防止対策について

以上の質問を致しました。  
8項目目の特殊詐欺については時間が足らずに取り上げることが出来ませんでした。

一般質問を準備するにあたり、本当に多くの方から現場の声を聞かせて頂きました。  
少しでもみなさんの声が県政に反映されるよう、引き続き取り組んでまいります。



今回も多くの方が傍聴に来てくださいました。ありがとうございます。

### 伊勢崎市の就学支援制度

【お問合せ】  
伊勢崎市教育委員会 学校教育課  
電話 0270・27・2787  
または、在学校へ相談してください。